

産建文教常任委員会

「白鷹町立白鷹中学校」に決定

12月11日に本委員会を開催し、請願2件と所管事務調査を行いました。

「白鷹町農業振興対策に関する請願」は継続審査、「少人数学級の推進及び義務教育国庫負担制度の改善について」は採択となりました。

各課から
① 一般法人アルカディア財団の経営状況

② 統合中学校の準備状況

③ 町道認定 立道線(横田尻) 大瀬宮野前線(大瀬)

④ その他

などの説明を受けました。
①では「宿泊者に対してのちよつとしたサービスや工夫など、アイデアを出して検討しては」との委員の問いに、いろいろと企画やアイデアを出して様々なサービスを実施している。仙台しらたか会の方に対しては、会員券の提示による会員向けのサービスを実施している

との答弁がありました。

②では平成27年度から

「白鷹町立白鷹中学校」とすること
に決定した。
校歌・校章

については、
準備委員会で検討しながらすすめるとの説明を受けました。

③ではいずれ

も起点、終点を変更し、
路線の追加延長を行うもの。
集落内の生活安全確保のため除雪対応をはかり、
冬期間などの緊急車両の通行確保をするため
との説明を受けました。

その後、現地調査を行いました。

④では鷹山小学校災害復旧工事について、12月12日



統合後は「白鷹中学校」となる現在の東中学校

から片側通行が可能となり、
工期は、NTTケーブルの処理などに時間を要し3月15日まで延長したいとの報告を受けました。

大規模養豚場悪臭問題特別委員会

11月19日に本委員会が開催され、

①9月に養豚施設管理の改善について2回目の文書指導を行ったこと②土地改良区施設への排水については圧力タンクの設置を確認したこと③9月に専門業者に委託して臭気測定を行ったこと④悪臭に対する苦情件数が4月からの総計で78件であったことなどの報告がありました。

また、不動産競売の状況の説明があり、11月15日に公示され、12月5日入札開始で12月19日開札とのことでした。

今後の取り組みは、臭気測定の継続実施、臭気対策にかかる技術などの情報収集を行い事業者を提供する、事業者を含めた関係者との協議を継続的に行っていくとのことでした。

12月27日の本委員会で、不動産の落札業者は、宮城県の農事組合法人蔵王ファームとの報告を受けました。